

図書館ふくい 平成16年3月

〒918-8113 福井県福井市下馬町 51-11

: 0776-33-8860

ホームページ URL : <http://www.library.pref.fukui.jp/>

祝日は開館しています！

今年1月から、これまで休館していた祝日(休日)を開館することになりました。かわりに祝日の翌日は休館となります。但し祝日の翌日が、土・日曜日または祝日の場合は開館します。これにより休館日は、月曜日、第4木曜日、祝日の翌日(土・日曜日の場合を除く)、図書点検期間、年末年始となります。開館時間は、平日は午前9時～午後7時、土・日曜日・祝日は午前9時～午後6時です。

| | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|----|----|----|----|----|----|----|
| 3 | ・ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 月 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| | 28 | 29 | 30 | 31 | ・ | ・ | ・ |

| | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|----|----|----|----|----|----|----|
| 4 | ・ | ・ | ・ | ・ | 1 | 2 | 3 |
| | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 月 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | ・ |

色をついた日が休館日です。3/20(土)春分の日と4/29(木)みどりの日は開館します。

かわりに4/30(金)は休館となります。3/21(日)は通常どおり開館します。

3月の行事

<子どもと本の講座>

3月23日(火) 第1部:午後10時45分～、第2部:午後1時30分～ 小集会室にて

絵本や子どもの読書についての講座を開きます。講師は『おかあさん、本よんで』、『絵本という宝物』、『絵本のある生活』などの著作があり、絵本研究で博士号を取得された正置友子^{まさきともこ}さんです。参加するには事前の申込みが必要です。お問い合わせは県立図書館企画班まで(0776-33-8860)。

<おはなし会>

3月13日(土)・27日(土)午後3時～ おはなしのへや(子ども室内)にて

幼児から小学校中学年までで、一人でおはなしを聞くことができるお子さん向けに、絵本の読み聞かせやおはなし、紙芝居をしています(約30分間)。保護者の方も一緒にご参加いただけますので、お気軽にご参加ください。

<子ども映写会>

3月20日(土)午後1時30分～ 多目的ホールにて

作品名は「ジャックとまめの木」(10分)、「しりたがりやのとら」(10分)、「アラジンとまほうのランプ」(20分)。入場は無料です。どうぞご来場ください。

「はじめてのえほん」コーナーができました！

子ども室内に「はじめてのえほん」コーナーをつくりました。主に0歳児から2歳児(乳幼児)を対象とした絵本を置いています。『いないいないばあ(松谷みよ子/文)』や『こぐまちゃんえほん(わかやまけん/作)』など、おなじみの絵本が並んでおります。ぜひご利用ください。

3月の企画コーナー

<スクリーンの感動を再び ~映画の原作特集~>

2月27日(金)~3月31日(水) 企画コーナー

今月は映画化された外国文学の特集です。翻訳と外国語の原書を併せて展示します。邦訳と原書とを読み比べて違いを楽しむもよし。好きな映画を今度は原作で楽しむもよし。原作を通じて、お気に入りの映画がより味わい深いものとなることでしょう。

<翻訳された日本文学 ~文化の逆輸入はいかが?~>

3月2日(火)~3月31日(水) 第2企画コーナー

外国から見た日本といえば、相変わらずフジヤマ、ゲイシャ、サムライなのでしょうか?歌舞伎や大相撲も人気ですが、日本文学だって頑張っています。古事記、源氏物語といった古典から、よしもとばなな、村上春樹などの現代日本文学まで。さあ、英語でチャレンジしてみましょう!

<「魯迅展」関連企画 ~越境する魯迅~>

2月27日(金)~3月31日(水) 第2企画コーナー展示ケース

3月5日(金)から14日(日)まで福井県国際交流会館で開催される「魯迅展」(入場無料)にちなみ、当館で所蔵している魯迅に関する資料を集めます。今年は魯迅とあわら市出身の藤野巖九郎が会ってちょうど100年。魯迅の足跡をたどり、作品の世界に浸ってみませんか。

<高田博厚 ~思索する芸術家~>

2月27日(金)~3月31日(水) 郷土資料コーナー展示ケース

彫刻家・高田博厚は、青春時代を福井市で過ごしました。高村光太郎、ロダン、マイヨールら彫刻家に師事し、文学者のロマン・ロランやジャン・コクトー、哲学者アランとも親交があった高田には、文筆家、思想家としての一面もありました。今回は、彫刻作品の図録をはじめ、高田博厚が著したエッセーや翻訳を手がけたフランス文学書、美術書などを展示します。本を読んで高田博厚に興味をもたれた方は、ぜひ福井市美術館(アートラボふくい)で常設展示されている彫刻・デッサンもご覧になってはいかがでしょうか(福井市美術館は入館料100円。図書館から徒歩15分)。

人気の本ベスト10(予約の多い本) (平成16年2月16日現在)

| 順位 | 著者『タイトル』 | 予約者 | 順位 | 著者『タイトル』 | 予約者 |
|----|--------------------|-----|----|--------------------|-----|
| 1 | 養老孟司『バカの壁』 | 66名 | 6 | 綿矢りさ『蹴りたい背中』 | 29名 |
| 2 | 片山恭一『世界の中心で、愛をさけぶ』 | 53名 | 7 | 金原ひとみ『蛇にピアス』 | 27名 |
| 2 | 横山秀夫『半落ち』 | 53名 | 8 | 岩崎峰子『祇園の教訓』 | 26名 |
| 4 | 宮部みゆき『誰か』 | 52名 | 9 | 江國香織『号泣する準備はできていた』 | 25名 |
| 5 | 村上龍『13歳のハローワーク』 | 40名 | 10 | フジテレビ『トリビアの泉 へえの本』 | 23名 |

図書館利用の“いろは”~新しい本やベストセラー、話題の本はどこに?~

「県立図書館には新しい本が少ない」、「新聞・テレビで紹介されたベストセラーや話題の本がない」という声をよく耳にしますが、当館では年間2万5千冊以上の図書を購入しており、そのほとんどは新しく刊行された新刊書です。どうしてもこれらの新しくてきれいな本や話題になった本、ベストセラーには人気が集まり、貸出されていることが多く、返ってきてもまたすぐに借りられてしまうため、皆さんの目には触れにくいというわけなのです。貸出中の本には予約もできますので、お探しの本が見つからないときは、お気軽に調査・相談カウンターまでご相談ください。